

1. 件名：東海再処理施設の廃止措置計画に係る面談
2. 日時：令和5年12月5日（火）10時00分～12時00分
3. 場所：原子力規制庁10階会議卓 ※一部出席者はTV会議にて実施
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部
審査グループ 研究炉等審査部門
栗崎企画調査官、真田安全審査官、上野管理官補佐、大島原子力規制専門員
検査グループ 核燃料施設等監視部門
石井主任監視指導官
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
安全・核セキュリティ統括本部 安全管理部 マネージャー 他1名
再処理廃止措置技術開発センター 副センター長 他6名
5. 自動文字起こし結果
別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
6. 配付資料
資料1 ガラス固化技術開発施設(TVF)における固化処理状況について
資料2 工程洗浄(再処理設備本体からの回収核燃料物質の取り出し)が終了した段階
に実施する廃止措置計画変更認可申請の計画について
資料3 工程洗浄終了後の状況に基づく性能維持施設の整理

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	それでは東海支社ではなく、よろしく願います。
0:00:05	西郷、一通りの説明で、
0:00:13	決まってよろしいですか。はい、どうぞよろしく願います。
0:00:19	いいですか。はい。願います。はい。原子力機構モリカワです。それでは資料 1、TVFにおける固化処理状況についてということで、2 ページ目からになります。
0:00:32	3 ページ目が、今回のTAFの概要ということで、3 件、御説明予定です。まず一つ目。
0:00:41	両方がたまる鶏舎の整備ということで、こちらについては交流を集めて事故時PM120 です。
0:00:49	こちらの右腕判読の導通不良法について、
0:00:53	助成制度の移設をコネクタの人出による詳細点検実施し、
0:00:58	ケーブル株の固定不良、こうで巻き取り不良が原因と推定し、以下の対策を実施しております。こちらについて原因については前回の会合で報告しております。
0:01:09	2 点、対策としては主に、一つ目としてケーブルクランプの固定不良、これについては、
0:01:15	並行でのケーブルクランプにスペーサーを設置締め付け適切なりクランプの据付調整を行っております。二つ目としてコード巻取不良についてこちらの回転部の固定部、こちらの干渉入門ということで、
0:01:28	これは干渉してくために上記のように交換するコードリールの蓋とそっくりとの間にスペーサーを設置し、
0:01:35	適切な過ぎませんと確保しております。
0:01:38	この中で聞いてもいいんですけど、どちらか聞いてもいいですか。
0:01:42	このちょっと列記しないといけないから、この①の。
0:01:48	スペーサー程度、どこどこ、どんな感じだった。
0:01:54	一方、17 ページ目にありますが、
0:01:58	37 名が、その上の写真になるんですけど、きちっと 2.5Bで 2.5Bの、板厚の精査をかましてそこまで締め込むということで、ここで適切な隙間を確保すると。
0:02:13	いう形にしています。
0:02:19	だから、これ、短くしました。そうですね。そうですね。スペース当てて通り、この間、普通車がついてます。年次の間に

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:30	スーパに 2.5 ミリ板を入れて、そこまで締め込まないと、そこ、スペーサーが緩んでることがわかるので、見た目にはちゃんと締め込んでることわかるためにスペーサーを入れて、
0:02:42	そこまで引き締める対策をしてる。これじゃねじ取って、申請さ入れて入ってもう 1 回レジメ直したっていうことということです。
0:02:58	今、
0:03:01	402 も、こちらも、こちら今度、隙間がなかったんで、同じようにスペーサーを設けて、角谷基地取り入れように同じにスペーサーを受けてそれでボルトを締めていったっていう形になります。
0:03:16	KSDとこの 77 ページ目のこの、ここに出てるこういうまるっこ板厚のものV等のところに、この 1 ミリぐらいのみんなのものを入れて、これ以上要するに締め込まないで必ず 1mm のスペースが隙間が設けられるように、そういう対策を講じてる。
0:03:40	どうしても、必ず 1 ミリはこれで確保するっていう、そういう対策ですね。
0:03:46	もう 1 人ちょっとできないとどうなってる。
0:03:50	確保できないと。
0:03:52	固定部等、回転部、片方が固定して型を書いてるんだ、ここは隙間があればこう回転して摩擦が起きなかったんですけど今回接触してしまったので、そこで接触抵抗きてそれで回転が少しその、策定高で改定がちょっと紹介されたっていう。
0:04:08	事象があってそれで要するに巻き取りが途中で止まってしまったっていう、
0:04:14	事象が発生したということで、この、
0:04:17	もうこれ巻き取りやつで、指定されてるからこうスムーズにいけるんだけど、
0:04:23	ついてたんで、1 人が、今実際に抹殺で止まってしまって、ただ一旦ある程度するとまたそこ動き出すときあるんですけど、そこは少しその傾向を持ってしまったので、そこにきっちり隙間を設けて、抵抗なくすよう中、
0:04:40	形で、回転させるっていう、
0:04:44	前も説明されたかもしれないもの。
0:04:46	ついてるとどうなったん、どういうことになったんですか。動かなくなってしまったと巻取をこうばねでこう巻き取ったんですけど、それはここで 1 個、
0:04:57	干渉してしまうので、巻取なくて止まってしまったっていう、ケーブル自体は下。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:04	下工事は、上から引っ張られてケーブルもロールアウト木暮って1人でこう縛ってるんですけどウエノ上がってるときは、こっちは上昇するんですよ、ケーブルは。
0:05:14	これに追従する形で、バレーでこう、
0:05:17	ヒーローラーでこうグルグルまわしながら引っ張っていくと、そのときに、こっちは上昇していくんですけどケーブルが、巻き取りが止まってしまうので、ケーブルをたわんでしまうです。
0:05:28	なので、ここで一貫校止めてると、しばらくすると、巻き取りがこうまたはぐるっとこう回転して、
0:05:37	その時に警部がピンクと貼ってしまって、コネクタ部で、過剰な力が働いたというふうなので、綺麗にこう巻きとれるように、必ずこう隙間を設けて、水準に合わせて、いろいろな対策にした方がいい。
0:05:58	で、両括弧2として、その交換する右腕のコードリール以外ですね、左上オート旋回台をですね、こちらについては、特に増車上不具合なかったんですけど。
0:06:09	若干その隙間が少ないところとかありましたのでそちらについては同じようにスペーサーを、を設置する対策を講じてます。
0:06:17	両括弧3として、これらの対策を講じたものについては、効果性内に搬入し、11月4日に復旧しております。
0:06:27	もう1機ですね今度は120番復旧しました121番、こちらの旋回不調等があるものにつきましては、今後詳細点検を実施していくということで、今要因分析を実施しているところです。
0:06:41	この点検整備に向けましては120番で使った事項ですね、こちらでありますとか交換世代に少し不要な廃棄物を搬出を先に進めるってことで、
0:06:51	こちらの作業を今進めてるところでございます。
0:06:55	申し訳ない。はい。
0:06:59	季節、ノー。
0:07:01	右腕以外のやつは、
0:07:04	必要に応じて同様の対策、結局あれですか左腕用とか旋回台用のも、はい。
0:07:11	一応見てみて大丈夫なのかみたんだけど、何かに似たような事象はあったんですかその等、
0:07:18	ドリフ自体は全然動きが問題ない状況を確認してます。ただ隙間が、一つ、取っちゃったけど左は多分隙間が全然あったんですけど、前回出るのがやっぱ隙間がちょっと見えなかったのが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:33	多分、動機的に問題ないんですけど今後ずっと継続していった時にもしかしてそういう、もし接触による勧奨というのが進展した場合っていうのがあるのでそこについてはスペーサーを設けて、必要な隙間を確保したという、そういう対策はとってますんで、ハミリスペースは同じです。
0:07:55	スキーマチェックして隙間、
0:07:57	がないよねってやつは一々センサーを入れたって、はい。
0:08:06	製作時期が異なってる。
0:08:11	これはそんなを直っていうのは、
0:08:14	月、
0:08:15	結局これ言ってることは
0:08:19	スキームを見たところ隙間があると。これは見たところ製作時期が違うんで。はい。ある政策時期のやつはその隙間がそうですねない傾向発見したんだけど。うん。
0:08:32	別のものは製作時期が異なっているやつは、はい。スペーサーが、
0:08:37	スペースがあると。そうですね。はい。続きまして、はい。
0:08:42	平成 30 年以降はちょっと。
0:08:48	何回かに分けてこれ作って、以前にも何度か交換してるんだけど、それの方でこういう事象がなかったんで、そのものについては基本的にその隙間がもともとは確保されてるものがあったと。今回新しく作って、
0:09:02	交換したものについてはちょっとこういう事象があったので、そのものについては、対策を口確認して取っていくということになります。
0:09:11	ここのやつなんですか。じゃなくて、今回交換したものですね、もともとついてたものは、特にそういう問題なくて今回多田さんに高経年化っていうか寿命管理をしてるのがありまして。
0:09:24	それで今回交換したんですが交換したものが、
0:09:28	ちょっとそういう隙間の薄。
0:09:31	が少し足らなかったっていうのがあったのでそれを今回対策を打って、後別に交換しちゃって、
0:09:39	それが 9 年。
0:09:41	交換した時にさもう交換した時に隙間なかったよね。そうですね。
0:09:55	今後、(3)でこん従って交換した時にこういうことが起きちゃうんだから、今後交換する時にはちゃんと隙間が。
0:10:05	括弧できるかっていうのを、そうですね。
0:10:10	確認項目に追加する、ちゃんと搬入も作る時も当然そうなんすけど、実際付ける前にも確認して、それからちゃんとして、
0:10:21	運営効果セルに搬入していくという形で、はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:24	確認ポイントに追加するっていうのは、何と何についてのチェックリストを設けてまして、つけた後に企業のいろんな前、電気チェックとかこうやるんですけどその項目の中にちゃんと隙間が確保されてるかっていう、これもちゃんとチェック項目としてつけて、それをちゃんとチェックしてから、
0:10:42	実際に運用を開始するという、そういう手順の方に見直してる。
0:10:54	いうことは、結局今後はその、
0:10:57	ケーブルランプ、
0:11:01	はちゃんと
0:11:03	隙間がナカノに、ちゃんとなんていうかな、S2.5メーターのスペースを設置するとかその、1人フリーで、はい。1mmにスペースを設置するっていうのはチェックリストに入れる。
0:11:19	わかりました。はい。
0:11:24	火曜けど、これは
0:11:27	ページ2、4ページ目については、3号ですね。
0:11:32	運転条件確認試験ということで、こちらの方は、11月1日から、作業開始、今振って、
0:11:42	試験を終了し項目1件の方に移ってるっていう。
0:11:47	ですね。
0:11:48	あともう一つが処理計画の見直しですね、こちらについては、これまでの進捗状況を踏まえて、
0:11:56	3号炉の更新のスケジュールとガラス固化の全体も見直しを行ったと。
0:12:04	片面5日、工務部は、今週、こちらのスケジュールは、1、4日からですね、PRは11月30日から30項目試験の方開始しております。
0:12:22	で、5ページ目からが、上がたまに増えた、今のすいません、導通不良の件ですねいろいろコメント、ご質問あった件ですけど簡単に事象概要を、についてはご存知の通り6月13日、事象発生して、
0:12:40	そのあと
0:12:42	長先生の方で今、点検の方を行うという状況です。
0:12:46	コードリールの構造ということで、こちらについては、
0:12:52	8ページ。
0:12:57	効果性の中には仁木井関がありまして120万人で120番の方が今回、ほぼ、
0:13:05	取りの方の不具合があったということでこちらの右側の図3にありますように安形マネージャー統括ということで、施工度理由はそれぞれ3についてまして旋回台を、左上を右腕をっていうことで、一つのBSMに。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:21	フックのコードがついてですね、こちらについては、左側の他にありますように、固化セルから除染セルの方に搬出して、除染セル内で人手による、
0:13:31	点検整備を行うというふうになってます。
0:13:35	7 ページ目の方が、ドリーの概要図ということでこちらちょっと少し複雑な動きなんですけど実側にケーブルを、待ってって、内側にもケーブルがずっとこう張ってまして、ケーブル固定箇所ということで、
0:13:52	外側側の方については固定したものと一緒にケーブルが回っていくんですけど。
0:13:59	右側の図 5 にあります青のところには軸にここはもう 1 ヶ所、ケーブル固定所もこれ固定してるのでこのケーブル動かないので、
0:14:09	巻き取りとか巻き出しすると、ケーブルが緩んだりしまったりするってことで、その部分を 4 時リョウソ内側の方の、
0:14:19	児童の方のケーブルで吸収するという形の報告となっております。
0:14:28	8 ページ 9 ページ目は、要因分析図ってこれ前回の会合でも示した資料でこちらに基づいて現地調査をご説明いたします。
0:14:40	噴砂どこ。
0:14:45	構想通り関係ない。この、この固定部と回転部の隙間の部分になります。はい。
0:14:53	最初ちょっと詳細ありますけど、基本的にこの部分ですね。
0:14:57	この部分が、固定されて、この周りがこうくるくるを回るので、その固定してると会見してるところが干渉して動きが少しあまり。
0:15:08	設置抑制されたっていう形の時はその固定されてるんで、固定されてんですよ。そうです。
0:15:16	で、あとこっちはこうグルグル、
0:15:20	回転してるので、
0:15:22	ケーブルはこう延びたり工賃だりしてその時ここも全部こうグルグル、ここで 1 ヶ所が固定されると警部がどうしても余って海底に対して緩んでくる。
0:15:32	それを内側のケーブルが緩んでくると、外側に少し開いて、うちが外 5 の間に少しいるんだ常勤で巻き取るとそれがグーッと閉まって行って巻き取られるってということで、このナカノ緩んだりしまったりで、
0:15:46	1 回固定者に対して余長分を吸収する、内側で吸収するというそういう構造になって、それ全部電源ケーブルで一気通貫でこの、
0:15:57	ケーブルやってるので、どうしてもちょっとこの固定部と、海底部っていうのが現れてしまうってということでこういうちょっと複雑な二重構造で、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:05	その予兆分を吸収したりしてるっていうそういう構造になってる。
0:16:11	わかんないもんで。
0:16:17	スペーサーがない、あるとスムーズに巻き込める示して差がないとこうやってくっついて最初はちょっとあんまり僕はどっちかっていう事です。はい。
0:16:31	そうなると何が大きいんですけど。
0:16:35	京都急にまた小グループを回転を始めてしまうっていう。それで、一旦緩んでたのが、一気にまたピンとこられてしまうと、そんな時に、
0:16:46	その1ヶ所弱いところに荷重がかかってしまって、今回そのケーブルクランプをちょっと締めがあるかっていうのがあったのでそのゆるいところで、一番弱いところがそのコネクタの接続部、そこが引っ張られて、
0:17:00	イソコンなると、こっちかこっちかどっちかのケーブルにテンションがかかるそうですね、こっち側の方ですね。はい。
0:17:16	ですね、10ページ目と11ページ目にお考え。
0:17:21	こちら10ページ目が、今言いました
0:17:26	コネクタ一分ですね、左側の、
0:17:29	になりますけどこのピンクのところはコネクタは一のケーブルクランプがケーブルが走っておりまして先端にコネクタがついてると。
0:17:40	これと下側の旋回台が接続してるっていう状況です。
0:17:45	先ほど言ったようにコネクタ一分が過剰の力がかったところでこの破損断線ということでこの、
0:17:52	コネクタ部が引っ張られて、一部破損したり断線したことで、芦田狩野線買い手の接続が離れてしまって導通不良が起きてしまったという状況になってます。
0:18:04	ダンス弾性してたんですが、断線塗装皮質をですね引き抜かれたり断然したりっていう。
0:18:12	にされて、一応破損麻生の断線もあったと。見てなんか見てみたらそうですねはい。
0:18:22	だから、続ければそうです。
0:18:26	で、11ページ目にそちら先ほど今ちょっと説明した
0:18:31	ポイント動画でも一応ちょっとど写真でこう、
0:18:37	上昇にですね、前回の上昇とともに、こちらケーブルを巻き取るんですけど、ケーブル巻き取りが一部途中で止まってしまったのでたるみが発生してしまう。しばらくしてると、少しそのたるみが解消するために急に動き出すと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:52	それで動き出すとこのケーブルは急にこぼんとまっすぐ戻ってしまうので、
0:18:56	ここに戻ったときに、先ほど弱いところに力が急に入ってしまったっていうんでしょうか。
0:19:10	ないためにわかったんですけど、ケーブルプラントがちゃんと締め付けられてないと。はい。
0:19:18	なぜ 8000 単線大きいんでしたっけ。本来決まっていれば、
0:19:24	ここで、
0:19:25	結構抑え込まれてれば、うん。ここまでケーブルはこう抜けなかったんじゃないかなあ、なるほどここは緩んだのでケーブルをこう引っ張られてしまって、弱いところが破損して、
0:19:38	その要するに断線、ケーブル自体断線が起きたり、導通不良が起きてしまった。これしっかり閉まっていれば、もしかしたらこう動かなかったかもしれないっていう、ここで経年管を買ってしまったて、ここに、
0:19:51	トランプは壁か何かくっついてんですか。ついてないですね。はい。
0:19:55	この、この問題にそういうことですね。
0:19:58	受かってしまってこの台にくっついてるから、しっかり閉まっていれば、ここにテンションがかかからないってことですね。そうです。はい。はい。
0:20:15	12 ページ目以降、こちらのマックリー不良ですね。なぜ待ってる不良があって先ほどちょっと原因の方ご説明したんですけど、その原因調査ということで、
0:20:28	いろいろその要因分析をもとに行動理由ですね、少しばらしてみたりして、原因特にあるかっていろいろ調べました。少しその内部でケーブルが重なり合ったりとかいうことであります。さっきの場ですね、音が
0:20:44	破断してるんじゃないかといういろいろ調査をしたところ、そのバリューは問題ないっていうこと。ケーブルは一部そのうちが重なったりしてましたけど、それによる影響はなかったということで、組み立て状況を確認したところ、先ほど
0:20:58	あとカバーですね、こちらの方に干渉があったと。
0:21:02	またその間焼香も確認されたということで、こちらについて先ほどスペーサですので再組み立てを行ったところ、
0:21:10	干渉が解消しスムーズな動作確認できたということでこちらの干渉が原因ではない。
0:21:17	ということで、こちらが 14 ページ目ですね。
0:21:24	で、実際の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:27	このピンクのところ固定してる蓋の部分で、内海品、水色のところ緑ですね、こちらが回転してる場所でこの回転してる場所と、
0:21:38	蓋のところ、本来隙間があるべきを、
0:21:42	ちゃんとこう締め込んで組んでしまうと隙間がなくなってしまってこの部分で干渉し、こちらが本来回転する、固定する部分。
0:21:50	なのでこの隙間に、スペースを設けて、きっちりちゃんとこの、
0:21:55	隙間確保できる形で対策をこうしたという話になる。
0:22:03	で、そちらの推定プロセスを 15 ページ目に記載しております。先ほど説明しておりました側においていく分には下側の旋回台に引っ張られてケーブルが、
0:22:14	伸びていかないと良いと、垂水とか発生しないと、これが上昇する時はたるみが発生して、その戻ったときにその右側にありますようにその一番弱いところですね、こちらに
0:22:25	過剰な引張力が発生したということで、そちらによって、ケーブルがずれてどういうふうに買ったと思うに判断して、
0:22:37	10 ページ目に原因と対策ということで、資料(1)でスペーサを設けるとのこと。
0:22:45	両括弧 2 では左押しと、線下での必要な対策を講じることと。
0:22:51	121 番、今既設の 121 番については
0:22:54	特設ケーブルクラブのスキームは適切に管理されておまして、動作状況非常な問題等に考えて、
0:23:02	(3)で今後、確認事項を追加したということでございます。
0:23:08	17 月スペーサーを取り付けたものを、対策の着手という形になっております。
0:23:15	ここまでが 120 番の、121 番今後行うんですが、こちらについては、
0:23:24	今要因分析を行ってございまして今後ですね 12 月中旬ぐらいに、その旋回台を除染セルの方に上げて、一つ点検を入れていくという状況でございます。
0:23:40	今は要因分析は可能な限り整理した段階で、会合時にはこちらの方に掲載してそこも少し簡単に。
0:23:50	現地調査の状況を報告したいと考えております。
0:24:01	で、20 ページ目以降が、3 号炉の運転状況。
0:24:09	対策を、新たに交換する時にはそのスペーサ設置するとかして、はい。今後同様な事象が起きないように、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:20	古沢わかったんですけど、今このスペーサー設置して、もう、安全なテンションかからないようにするっていうのは確認できたんだけど、定期的にチェックするんですか、もう。
0:24:34	ちゃんとの、
0:24:36	スペースが確保されてるよねっていうのは、確認できるんですけども、クラウドについては、
0:24:46	馬コセル内のITVカメラで見ることができます。ただ先ほど社歴が
0:24:53	こちらの部分は、やっぱりもう人手で見ないと見えないところに行ってしまう、ここはもうどうしても、
0:24:59	確認は取れないですね。ただ
0:25:02	動作してる時にケーブルタウンの方はないかっていうのは作業員がずっとモニターで確認しながらいますので、そこは確認して、変にたわんできたりすると、もうそこは作業止めて、
0:25:14	どう今後どうするかってのは対策は考えて、一旦そこで作業を止めるっていうような、そういう周知は、作業には行ってるところです。
0:25:23	近江元。
0:25:25	あれかどうくらいはわかるけど、そこはチェックして、
0:25:30	一度悪いっていうカメラでその頸部例。
0:25:34	が見れるんですかそんな、今さっきレベル、しっかりそのあたりどうか。
0:25:44	どう。
0:25:45	これがー121520万ってこれ実際に交換し、こっちの方は、121番なので、これ効果性にある状況なんすけどこれITVカメラ越しに、
0:25:57	確認して、相対比較なんですけど、こちらの寸法他の新保わかってますので、これで隙間が幾つあるかっていうのは、
0:26:05	確認しようと思えばできます。すごくしようと思えばできるけど、するんですけど。
0:26:11	そこまではちょっと考えては基本的にスペーサーできっちり締め込めるので、緩むことはないしそれ以上締まる緩んではないというふうに考えてますので。
0:26:22	交通フローとか生じ始めたら、当然見返す。
0:26:27	はい。
0:26:35	まで何か、
0:26:36	磯糸井と言いますけど、
0:26:40	ここで特徴的なんです。特注品になりますはい。
0:26:45	結局、人材と。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:48	ロットによっても少しばらつきとかもやっぱりあったりして、それはその都度やっぱり注意して見に見ていかなきゃいけないものっていうか、
0:26:57	そうですね今までこういうのはなかったんですけど、今回の事象を踏まえると、やはりそのロットによって多少そういう、あると思いますので、制作段階以降ですね、きちっとこれの動作確認。
0:27:11	とかチェックをして、新しいものに交換していくっていう形で対応していきたいというふうに考えてます。
0:27:34	はい。続きまして 20 ページ目以降が 3 号の運転状況確認試験になります。
0:27:42	こちらはまず熱上げということで 11 月 1 日から熱上げを開始して、いろいろ確認した項目ですね、ありますが特段問題なく、前回のね、カレットをの熱上げ、試験よりも若干
0:28:00	期間が短くて熱上げ完了してると。
0:28:04	ということで不運転 2 日ぐらい前倒しでですね、熱上げが完了したと。
0:28:10	ということで 11 月 4 日から系模擬試験の方に移行したと。
0:28:15	そうですねもう 1 件の方についてはこれ 8 本流下するということで、11 月 4 日から 2 日に 1 回のペースで流下を進めております。
0:28:25	11 月 30 日までに 8 本の流下を完了し、こちらの方を模擬試験に移行してると。
0:28:31	低模擬試験においても主電極課の電力不破とは補助電極間電流。
0:28:37	あと流下ですね、こちらについては所定の調整範囲内で、所定の目標を確保できたということで、公務員試験の方に移行しております。こちらでも大体 2 日に 1 回のペースで今進めておりまして、12 月 4 日、4 日ですね。
0:28:53	時点で 2 本目までの流下を完了してるところでございます。
0:28:57	試験自体はは最初に炉内観察を年明けに行いますそこまでという形になります。
0:29:04	次の方が、22 ページ目でございますが、一応ちょっと普通先ほど熱上げの方期間が 2 日ぐらい前倒しできたということで、全体的に 2 日程度の前倒しで進んでいる状況でございます。年内には、
0:29:18	ドライアウトまで完了で法令して年明けの内監査予定としております。
0:29:27	1 回転負荷で 1 本って感じで 1 本という形で、はい。
0:29:33	わかりました。はい。
0:29:37	22 ページ目、23 ページ目、こちらの 20 ページの熱上げのパラメーターということで点線で書いてところが 22-1 のキャンペーンということで 2 号炉ですね、の運転との比較ということで、ほぼほぼ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:51	2号炉の運転のときのデータと同じような推移で、それぞれの各部の温度方が上がってきているという状況でございます。
0:30:02	本件分があつて、点検。はい。．．．25時のデータになります。
0:30:09	大石健。
0:30:10	時相当期間5で、基本的に炉の構造とか、レンツィ局の位置、大きさはほとんど変わらないので、基本的に5の運転パラメーターを、
0:30:22	3号でもそのまま使えるかどうかという形で、確認はそれ使えないところを少しパラメーター調整しますけど、現場でのデータという、2号の実際の固化セル内での発生分の運転データを、こちらの方の、はい。
0:30:36	試験と比較してるっていう状況です。そうですね。ほぼ一緒ですねはい。
0:30:43	はい。
0:30:45	23ページ目こちら側の低模擬試験の時の炉内の温度分布、ガラスの温度でありますとか補助電極、
0:30:55	底部の温度関係ですね、こちらについても、ここあまりちょっと細かく等で2号との比較データ示し基本的に2号の安定して運転時とほぼ変わらないような形で、
0:31:08	特にパラメーター的に、
0:31:10	異常な兆候を確認してる状況はよく安定な運転ができてるといった状況となっております。
0:31:17	右側はガラス流下のときの詳細ですね、こちらの方も所定の時間内である温度まで一定に上がってそれで流下開始できてるといった状況を確認できておりますのでこちらの方も、別に安定な運転ができてるといったような形で評価しております。
0:31:41	3ページ、2、左のボンドなんか見、
0:31:48	右の方はどういう意味なんですか、電力電流。
0:31:54	受領速度って。
0:31:57	この一番右のグラフですね、こちらはですね
0:32:04	それぞれ電源、このタイガー電な電力を見るときはこの背弧の基本的たていのう。
0:32:12	現状変わらずに、電力電流、流下重量、流下速度、それぞれ当てはめた形で
0:32:19	見ていくっていう形。
0:32:21	例えばその流下重量とかの場合黒の線で書いてますけど。はい。こちらの1本300キロ。
0:32:30	ですので300キロ最後300キロまで流下するという形ですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:42	温度だけは右のグラフで見てもらいたい。
0:32:50	建機 24 ページ目がこれも前回の会合しましたけど、一応、工藤福間今回のその運転の管理する項目ということで、それぞれの試験の中での主な管理指標。
0:33:03	あとそれを大瀬勲調整ですね運転パラメーターということで、
0:33:08	の方を 2 号ベースなんですけど、一応この温度範囲内で、それぞれの電力とかリールを調整して、この範囲にあるかどうか確認をしてるということで、基本的に今回、
0:33:20	ほぼほぼ同じような、運転パラメーターの調整で、今のところ進んでるとい状況になっております。ここで固めたデータをもとに模擬試験、白金族入った試験の方を今進めている状況でございます。
0:33:36	一方、大石家やったけど、2 号、
0:33:40	2 点、まだ挙動っていうのは変わらないよねっていう感じですか。そうですね。今のところ、2 号棟ほぼ同じような、運転パラメーターで推移しているという状況。白金族入れた状況でもう今日本まで進んでますけど、それほど大きな違いはない。
0:33:57	形で、流下の方進められてるとい状況です。
0:34:01	遞増書いたんだけど、別にその運転パラメーターが著しく、
0:34:06	変わったみたいな事象は発見されてなくて、2 人とも、
0:34:11	運転パラメーターとしては変えなくていいそうです。そういうことですね。はい。基本的に炉の底だけ資格制から延性に変えて、なるだけそれ以外を変えないようにして、パラメーターもあまりいじらなくていいような形で考えてましたので、それほど調整に時間を要することはないかなというふうに考えてます。
0:34:30	予想通りのデータ。
0:34:33	そうですねはい。
0:34:39	報告して、はい。30 入れて 300 出す 300 でタンクガスやり方をしてるんですよ。はい。中に、最低 2 本分ガラスがありまして、そこに、
0:34:51	1 本分追加して、それ三本いっぱいになったら、一本力でまたずっと実際の運転と同じようにじゃない。
0:35:01	入れて、はい。
0:35:03	運転と同じように、ずっと原料を供給し続けまして。はい。
0:35:09	それでそれでだから 48 時間ぐらいかけて、ガラス 1 本分になるような原料をずっと供給し続けると、でいっぱいになった段階で、一本、ざっと 3 時間かけて抜いて、
0:35:22	また同じように 1 本分ずっとこう 48 時間かけて、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:26	バランスがさ、300 キロは医療に見ると、こういうのをずっとこう繰り返すって感じなの。入院させてもらって、8 バッチ目だったじゃないですか。でもあん時も堀江
0:35:36	ましてね。はい。あれは、
0:35:40	8 バッチ目の、
0:35:42	あれは公務員を入れてたってことですか。
0:35:44	支障があります。はい。
0:35:48	はい。
0:35:51	朝田で申し上げますと、まずあそこ野呂には 300 キロでしたら 300 キロあって、一本 100 キロなんですけど、1 本 300 キロですので、ガラス固化体が 1 枚。
0:36:04	その中には何キロですかみたい三本なんですわね、900 キロですわね。
0:36:10	うん。
0:36:10	で、1 本抜くので、基本的にジョージアろ最低 600 キロは入ってると。600 入れてるのは格子全局ガラスにしたってないと通電できないので、
0:36:21	ちょうど 600 キロの辺りが主電極の上面あたりになるようにしているので、最低 600 キロは入れて、その残りの 130 キロを入れたり抜いたり、そういう感じになってます。
0:36:35	結構、3、
0:36:36	まず 900 だって 395 年コマイの 2、3 時間でしたっけ、リーカーだけは 3 時間ですわね、30、はい。
0:36:44	48 時間かけて 300 キロ戻すっていう、そうですねはい。実際も実際はですわね。
0:36:54	実際は 46 時間から 48 時間っていうその範囲内ぐらいで流下のタイミングを変えてるんですけど、基本的には大体その 2 日日本約大体 2 日日本というペース。
0:37:06	そして、はい。流行の方行ってます。18 時間 900 になったら、また 3 時間かけて、そうです。
0:37:14	いや、終わったら 48 時間。
0:37:16	はい。
0:37:20	そうですね。はい。これもずっとやってって、そんなはずれっていう作業あるじゃないですか。はい。いつやるんでしたっけ。
0:37:27	それは、基本的に
0:37:30	通常やってる部分では、何の問題もないんですけど、だんだんだんだんと抵抗値別に発見、たまってくると、傾向が少しずつ変わってくるので、ある程度の一定の値まで達すると、その、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:44	主電極通電自体がしづらくなってしまいうってというのがあるのでそこに来てしまおうと。
0:37:49	運転継続ができなくなるので1回全部から数を抜き出して、
0:37:54	中にそのたまった白金族を機械的に外すっていうそういう作業に移ることになります。そのときには900キロあるんで、三本やって、
0:38:04	3時間かけてやって、3時間かけて、
0:38:10	そうですね。
0:38:19	はい。
0:38:21	やっぱ、多分、坂内ですけど。
0:38:25	検垣から遠征の方がって何か見えるもん等がないっていう形ですけど。 はい。今の。
0:38:36	ちょうど白金族入れた試験をやって、この抜き出したガラスの今白金族の濃度プロファイルも取ってるんですけど。
0:38:44	まだ2本目なので、ちょっとまだ明確じゃないです。若干、日本だけなんですけど、ちょっと抜き出し朝霞あるかなと思ってのんです。ちょっとわかりまたちょっと。
0:38:56	続けてみないとわからないんですけど、そうやっぱりはっきりの抜き出し性抜き出せを比較してみて少し何か違いが出るかどうかというところはあるかなと思ってます。
0:39:07	まだちょっと今のところはデータが少ないので、
0:39:15	23ページでもう一遍全局温度システムを下げてる。
0:39:20	で言って出すだけじゃないですか。
0:39:23	元主任直温度。
0:39:28	青のラインですか。
0:39:30	修繕かはいはい。これ、ねらいというか、はい。その辺を、
0:39:37	これはですね、
0:39:40	主電極自体は、
0:39:43	冷却空気を、は、少しまわして空気量によって温度が少し変わるんですけど、
0:39:51	ここはまだ試験だったので少し冷却機能を少し温度変動させて、ここの温度を下げて、全体的にどういう数字するかっていうところを確認してるっていう状況で、最初の段階からちょっと冷却空気をふやしてみて、
0:40:07	その主電極の温度下がったときに、他の温度をどこまで影響するかっていう、ちょっとそのパラメータを今ここで調整してるような状況です。
0:40:23	これを電極温度をもう少し下げることで何かこう以来、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:29	られる効果。
0:40:31	あるんですか。そこはですね結局その底の温度をちょっと若干下げるとか、その上の温度を下げるとか上げるとかっていうのに主電極の要するに、
0:40:44	温度を若干変動することで、上と下の温度貨物の中 10 してくるので、そのどちら辺が一番運転上を管理しやすいかっていうところを今、少し調整してる状況になっています。
0:40:57	今の状況は全然問題は、あるわけではないんですけどやっぱりより、よりよく運転していく上で、どちら辺が一番
0:41:06	フロントとして適切かっていうところはそこを少しパラメータで確認してるという状況です。
0:41:17	連結の会合との関係っていう、そもそも、清茂木は池の実験が終わりましたと。はい。2号と3号で、共同とかは変わらないです。今、模擬廃液の実験やっていて、
0:41:34	それは資料には別の下がっているんですけど、会合との関係だと多分6ポンプ場っていうんすかね。ただ、順調にいけば、今日三池バー。
0:41:52	多分、会合当日でいけばもう終わってるかもしれないですよっていう感じで。はい。それは何か口頭ではちょっと説明する感じなんでしたっけ。いや。
0:42:04	なるほど。ここでは少し補足は入れようかなと思ってます。ただデータのちよっとやっぱり間に合わないところがあるので、そこは資料には反映的に次回の会合で、今回の結果の評価も含めて報告したいという。ただ状況としてはこういう状況というのは、口頭で補足入れたいというふうに考えています。
0:42:24	そうしたら、今ちょっとさっきお話あったけど、なるほど抜き出す。はい。
0:42:29	上が変わったことによって、抜き出し性が向上されましたとか、そういうデータは、
0:42:38	取れてればそういったことに、
0:42:42	何かそうですね話ができるのかなと思ってですね。
0:42:47	多分入れるとしたら今ぐらいの抜き出し性ぐらいのた、見た形の規制緩和少しいえるかなというところはあります。それがちょっとやっぱりいろいろ他のデータとか評価してみないと、詳しいことは言えないと思いますので。
0:43:01	わかる範囲でっていう感じですか。
0:43:07	白金族入れますよね。
0:43:12	炉低下させて、サンプルして白金族どれくらい入ってるかと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:18	岩井ウエノ。
0:43:19	炉の白金族の利用料とか濃度みたいな、としたのは木造と略して、
0:43:26	東京するんですか、基本的に入れた量と。
0:43:31	えるようが東部になれば、別にほぼ抜き出していると、炉内に保有してる部分ってのは当然ありますけど。
0:43:39	入れた量に対して、100%に至る%抜き出せるかという、あそこ農家比較になるのが、論的なところと、あとはいつ、たくさん抜けてるか、主流化の最初に向けて、
0:43:53	最後抜ける、ずーっといっている抜けているのかによって窓の形状とかによっても若干そういうところは多分違ってくると思うので、そこは2号との比較で、ちょっとその抜け方が違ってるとか、量0%100%系抜けてるかっていう、そういうところは
0:44:11	今日評価できるかなっていうのは考えてますけど、残っ残ってないよねっていうことですよ。そうですねはい。ちゃんと、だから、その均一になってるのは間違いないんだけど。
0:44:22	張りついてらっしゃる抜き出し性パーセンテージにすると、100%とかじゃなくてちょっと下がっちゃってるよね。
0:44:32	データ遅れてるそうですねはい。
0:44:39	今までは何%だったんですか。
0:44:42	今までのコールド試験でいけば、やっぱりほぼ100%ぐらい抜けてるのは抜けてます。
0:44:50	なので今回の試験をやって、
0:44:53	明確に違いが出るかっていうと、なかなかそこは、このコールド試験では難しいかなと思うんですが前回の
0:45:01	実際の運転した時も、何十バッチもずっと運転して、ようやく
0:45:06	抜き出しにくくなるかっていうところが出てきてるので、最初やっぱり数バッチだけだと、そこはなかなかそのん比較は難しいかなっていうところはあります。
0:45:18	達成は向上したかどうかもあるかわかんないかもしれないっすね四つしかない。そこはわからないかもしれないですし、ちょっとした違いが出るのかもしれないですし、そこは。はい。ちょっと詳細に見ないとわからないところがあるので。
0:45:32	はい。安田清が悪化されてないことは確実に分かるでしょうけど。そうですねはい向上されてるかどうかって、今までも、
0:45:42	バッチ数が少なければ100%です。そういうことではい。
0:45:51	押すって話ではできませんか。はい。そうですね。はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:02	25 ページ目以降が、計画の見直しですね、こちらについての資料となります。
0:46:12	まず 25 ページ目が、3 号の運転再開時期の見直しということです。
0:46:18	こちらについては、基本的な考え方として、今利用型マニピュレーターですね、こちらの方の整備が終わって、今後 121 番の点検整備を行うと。
0:46:31	今要因分析等を進めてますけど、ある程度の整備の内容ですね、ということで旋回台が更新委員が必要になった場合と、
0:46:44	今センターで更新せずにする場合せん方が更新する場合って言いますと、それがいろいろ条件はあるんですけどそれが必要になった場合までを想定リスクとして見込んで計画に反映してると。
0:46:57	その他の想定リスクは、計画には反映してませんが、事象発生最短での運転再開に向けて、必要な対策を決めるということです。
0:47:07	で、基本的考えたうち①から④ということで、今回コードリース 1 機追加で交換しましたのでそちらの遠隔解体。
0:47:16	あとは 121 番の点検整備で仮旋回台を更新した場合はこちらの方の解体も追加になるということ。
0:47:24	②として、この遠隔改札並行して、120%の点検整備、及び、不具合の兆候を把握する。生命危機ですね、こちらの点検を実施すると。
0:47:36	③として、解体場マニプレータの更新を今後予定しますけどこちらの中でも改定設備の高経年化対策を実施すると。
0:47:45	ということで、これらに必要な作業項目を精査し、いろいろな動線等を確認し、日割りベースで工程成立を確認したと。
0:47:54	結果として今回 3 号炉に言いよる運転再開時期は令和 8 年の第 1 四半期頃になる見通し、これを一応基本ケースでございます。
0:48:05	その上で、旋回台の更新に係る想定リスクがなければ、最短で進捗した場合の可能性として、Dは円柱の運転再開、これ最短計算ということでこれを目標として設定して計画管理を行うと。
0:48:21	鈴木さんの鍵早期運転再建作業の進捗状況として構成調整を行うということで、26 ページ目にその見直しスケジュールということで、
0:48:31	青野と河野線で書いてるところですね上から二つの 2 ポツ目のところですね、追加作業 0102、ここが前、もともとの工程から追加になってる作業ということで、
0:48:44	今後行う部分については令和 15 年の第 4 四半期、それから行う第 1 四半期にかけて、BSMのコードを変えたいと。
0:48:53	その下にBSMの全整備 121 番の整備を行う程度。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:57	その後、廃棄物の詰め替え今回改定する廃棄物ちょっと増えましたのでそちらの詰め替え作業でプラス1ヶ月と。
0:49:05	5番目の甲斐玉野%2ページの整備、この赤で線をもともと会社工程に、この中で少し高経年化対策も新たに追加して行くと。
0:49:18	これらの追加作業を踏まえると、令和8年度の第一案の運転開始と。
0:49:25	ただし想定リスクを入れてますのでそちらの想定リスクを回避できれば、令和7年度の第4四半期からの運転開始ということでこちらをまず目標として設定して、工程管理を進めていきたいというふうに考えてるといことです。
0:49:43	で、これの引き下げ時期を踏まえて全体計画の見直しですね、そちらについてはいい。
0:49:51	はい。伸びたのは、1年くらいなんだっけ。そうですね。1年はい。
0:50:08	直近1個前の22型に吸い込むとって、1年くらい延びましたが、まだ結構、
0:50:19	①は各コードルール。
0:50:27	解体はファーマニピューレーターの更新期間に解体せずに貢献か対策をですね、これは何ていうかな、今までの、
0:50:36	トラブルとは何か、全然関係ない話でいいんですよね。そうですね。はい。はい。河瀬。合わせてやります。あわせてちょっと必要なところ聞いてるところをやっぱりちゃんと手を加えて、きっちりして言えばやりたいということで、
0:50:51	追加してちょっとやると、具体的にこれ何するんですか、この二つって、部品交換になります品交換をする。
0:51:05	円形場で何か、いろいろケーブル関係とかを配線してるその中継する箱があるんですけど、やはり今、佐古少し劣化が見られるということで、
0:51:18	今回今後2号炉とか解体していく上では、そこを1回2号炉変えて着手しちゃうとこういって交換できなくなってしまうので、あらかじめこのをきっちり3の整備を事前に行いたいということで、そういう部分のを、
0:51:32	下にありますけども、
0:51:36	結局この期間中に、
0:51:38	野田伊井の解体設備を変えるところちゃいます。
0:51:47	1年、
0:52:02	飯塚町は、
0:52:06	基本ケースの目標ケースってのはあるんですか。はい。いろいろちょっと想定リスクとかを踏まえて入れたのが基本ケースで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:18	想定リスクと言われているのか今BSMの巡回台BSM121 番の点検の中で、何個かその点検するやり方を考えてまして、それを少し時間かかるころ、前回剛心までを一応リスクとして入れた工程が、
0:52:36	令和 8 年の第 1 四半期ぐらいでうまくいけばその更新、巡回台の更新までしないで、その部品交換等で済めば、その部分はやらなくて済むので、
0:52:47	もう少し前倒しできますという、なので一応はその前倒しできる、前倒しでも大丈夫なような形のところに目標を置いて、工程管理とか、物の発注とか、手配の方を進めていくという、
0:53:01	そういうやり方で今考えてます。
0:53:16	取り切り変えたい。
0:53:19	3 個について、
0:53:21	峰先生日です。
0:53:26	愛機密性目カイツイ勝はウリ類気分と、巡回台を回り仮に解体したりすると、その分の廃棄物組みますんではい。
0:53:40	V の合計で、いろいろ変えます。
0:53:44	はい。
0:53:49	半田氏を二つ 1 冊 1、
0:53:52	アフィリエイトそうですねはいここに書いてる数字を多数とはい。
0:53:58	11 ヶ月後 10 年、1023 ヶ月になるっていうのは、
0:54:15	はい。
0:54:16	大窪。
0:54:17	今回初めて出てきた、追加の作業っていうとちょっとこの表で言うところとどことどこになる、なるのか教えてもらおうと思います。追加の作業で、
0:54:27	この、
0:54:32	ピンクの点線で囲ってるところが、今回つい追加に夏井鹿野作業というと、
0:54:40	高経年化対策とかそういう意味では、前回の会合では出てこなかったんで、そうするとですね、このって書いてるところで 6 番の高経年化対策、令和 6 年の第 4 四半期のところに、
0:54:56	これからというここは高経年化体制追加になるということと、あとは、2 番のところの令和 6 年度の第 1 四半期のところの、
0:55:06	BSM の整備、121 番とか青のピンクの点線くくってますけどその吹き出しで、
0:55:12	二つ目のポツですね、不具合の兆候を確認した設備機器の保守期間を確保という、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:18	これは新たに、筒井可児してる作業がこの中に入ってくるっていう。
0:55:27	えっと、
0:55:28	宇野はい、新開台の遠隔解体等の追加っていうのは、
0:55:33	これは前々から、これもそうですねそうずっとそのウエノコードリールー基交換したものと、前回ですねこちらの遠隔解体も、
0:55:43	はい。
0:55:45	安全。
0:55:49	ちょっと前回から違うところでそのピンクの丸で久郷というところは、すべて前回の会合では説明してなかったところになりますねはい。
0:56:00	やっぱこの旋回台委員の、
0:56:03	更新っていうところなんですけど。はい。
0:56:06	今、前回の更新ってその、実杭の作業②のピンクのマーク。はい。はい。律速なんてのはそのウエノ作業じゃないですか。はい。
0:56:17	なんでこっちってあんまり影響ないのかなって思うんじゃないと思われるんですけど、どうなんでしょう。この旋回台の更新自体は、律速にはならないですけど、この更新すると結局それを廃棄物解体しなくちゃいけないっていうのでこっちの。
0:56:32	前回でも更新すると、そのウエノ上BSMのコードリールの解体というところの線が、今第1四半期末まで置いてますので、この中に旋回台の、
0:56:42	解体の方が入ってくる。なるほど。いや、この宇野船津旋回台の遠隔書いた通りAの内に、
0:56:51	を見込んで今こう引っ張るそうですね、なので、期間的にはこっちがクリティカルになって今しまうんじゃないかと。
0:56:58	なので前回で更新がなくなれば下の旋回台の更新も短くなるしウエノ改定のところも若干短くなるっていう。
0:57:06	はい。
0:57:07	ここの、
0:57:08	短縮で、今この目標も少し前に続きます。はい。はい。
0:57:26	いえ、27ページ目 28ページ目に、ガラスの全体計画の方の見直しということです。
0:57:36	こちらについての基本的な考え方ということで、これまでの進捗を踏まえて製造実績とか遠隔設備の高経年化、保守実績等を考慮し、
0:57:48	必要な項目を計画に反映すると。
0:57:51	なお早期完了に向け遅延リスクあるものの作業期間短縮の最短進めるための取り組みを検討するということで、三つ、一つは3号炉の製造本数は1起案堤体60億2号の実績を踏まえて60本。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:06	②として、運転保守実績が設備更新工程遅延リスクを踏まえて、予防保全を実施する計画停止期間を複数回設定すると。
0:58:15	③として、4号炉については、今後の交渉状況に判断するというので、
0:58:23	こちらのタイミング等を現状を見通すことは困難なんですけど、4号炉を更新する際に、必要な崩れないスペースを確保するというので、
0:58:32	2号炉の解体であればそこ解体廃棄物の搬出、こういうのを優先的に進めると。
0:58:38	いうことを基本的な考え方としてます。
0:58:41	見直し結果として、
0:58:43	高経年化に対するリスクを考慮して、安全活着に進める上では、完了時期を令和20年度末になる見通しっていうのがこれを基本ケースとします。
0:58:54	その上で早期完了を目指す観点から、3号炉の改善効果。
0:59:00	8期の宮瀬工場等で、状況期間を6ヶ月から4ヶ月。
0:59:06	あとは短縮遅延リスクによる保全内容の実効的な生産によって計画停止期間の回数を、日本海設定者も2回に短縮を図る。
0:59:16	こういう最短での固化処理完了の可能性として令和17年度末の最短ケースとして、これを目標として設定して計画管理を行うとしたいと。
0:59:26	で、3号の運転を改めて、実績等を踏まえて、必要な傾向に反映していくということで、サイトウ28ページ目に、
0:59:35	今見直したスケジュールで上は基本ケースということで、当初の計画に対して、
0:59:44	大きく書いてるところが本数ですね、60本ももとの計画80本とか、計画の計算の本から65にしているということ。
0:59:55	あとは、高経年化対策ということで、
1:00:00	4階ですね、高経年化対策、大車庫小型の搬送台車と言いますとか、BCMの。
1:00:08	走行ケーブルリール、あとはそのコードリール。
1:00:12	ここら辺を定期的にメンテナンスしていくという期間を設けてます。それらを組み合わせていくと、令和20年度になると、
1:00:25	それに対して最短ケースということでそれが下のケースっていうことで、ここで見直しているところは、残留ガラス除去ですね。
1:00:33	上では6ヶ月を見込んだところをここ4ヶ月に一応短縮、これ3号炉としての精度向上を期待しているということで、
1:00:42	あとは計画停止期間も効果性答えが必要なものは入れてますけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:48	もう少し後送り、しなくても次へいいかもしれないという、そこら辺を少し精査して、回数を削減して期間ですね、これを令和 17 年度末までに終わらせるという最短の目標を、
1:01:05	こちらで達成こちらの中で計画管理をしていきたいという形で考えてます。
1:01:11	ちょっと説明の方は以上となります。
1:01:18	大変なんですけど。はい。
1:01:21	僕、
1:01:23	津波の方も、はい、どうぞ。
1:01:29	まず、製造本数は 60 本、60 本にしました。はい。
1:01:37	日本よりの製造実績でも 60%んか。
1:01:42	社員香田さん鮭、いや、最高は 100 本ぐらいまで運転した埋まるとレイアウトするまで継続してこう運転手 1 本っていうのはあります。ただ最近の運転で、
1:01:54	一番長かったのが、59 本、2、そのあと 20 本とか 25 本もだんだん減ってきてると。59 本のときは、
1:02:05	そこまである程度もう少し不具合等ありながらも運転継続できて、59 万のでそれをもとに 60 本という形で、
1:02:13	今回設定してると。
1:02:16	それからその管理費をどうするのかを決めるんだけど、はい。代田伊井 2 号炉の見方、60 分ぐらいでとりあえずするんじゃないかと。
1:02:26	いいですか。はい。それです。しました。はい。
1:02:30	②で、
1:02:32	工程遅延。
1:02:35	計画定数期間っていうのは、これは何なんでしたっけ。要は、今までは、何か不具合があったらバーン更新するっていうのと、あらかじめ、いつ頃までに、いつごろに更新するっていう、
1:02:50	その予防保全的な感覚で、計画停止っていう期間を何回か設けて、その期間で、設備機器のメンテナンスを行うという、そういう意味の、計画停止期間という形にしています。今までにはあったんですか。今までもありました。
1:03:06	ただ前ごとの計画ではもう、結構この後は計画停止期間を設けないようなスケジュールにしたんですけど、ただいままでの状況見るとやっぱり定期的にやっぱりちょっと手を入れていくものがあるというふうな形で今考えてますので、今後も定期的にそういう、
1:03:21	期間を設けて、固化セル内機器、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:25	メンテナンスをしていきたいと。
1:03:27	2年後、大体そうですね、そのぐらいの頻度。
1:03:32	はい。考え、2年に3年に1回の頻度ですね。
1:03:38	最短ケースだと、その計画でCあんまないんですね。
1:03:44	2回やって、本。
1:03:47	停止しなくていいんじゃないよ。
1:03:49	そうですね。はい。
1:03:51	はい。
1:03:55	残念に1回、予防保全的にちょっと、はい、取りかえたりする。
1:04:01	4号用理路は、
1:04:05	設計変更するのかと考えます。
1:04:12	貸せないスペースは確保する。これ、
1:04:17	はい。これは今の3号炉に更新する際も、
1:04:24	検査の硬化世代の解体物廃棄物は、スペースを(3)にはいか出さないと。
1:04:30	2号炉の撤去ができないということがありますので、
1:04:35	仮に急に3号から4号にそうなった場合で公開するのにいつぱい廃棄物があると、当然それを全部こう綺麗にしてからじゃないと、更新できないというのは事前にできる限り早めに、
1:04:47	解体を並行して進めていくという意味で、
1:04:51	4号があるというのを頭に念頭に置くと、ちゃんと解体の方も計画的に進めていかなくちゃいけないと、そういう意味で一応そういうスケジュールとしてるといふ、そう。
1:05:05	ほぼできるのはいつぐらい。
1:05:10	はい。そこはまだそこまでは具体的には入ってはないです。すべてスペース。
1:05:18	はい。はい。
1:05:30	コンコーダントなんていうんすかねやもうやってみないとわかんないですけど。
1:05:35	354色でもう設計変更してるわけだから、要望です。変更するならあるんですかね。
1:05:44	基本的にあんまりないかなと思ってます。今やるとしたら、2ゴールの形に戻すか、3号炉にするかっていうところでやっぱ設計変更入れる等、それなりのまた期間が必要と。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:59	あと今回みたいなモックアップ試験で、設計変更した分の確認試験っていうのが、なるとやっぱそういう期間が延びてしまうので、
1:06:07	やはり製作に3年ぐらいかかるってのが今今回の実績ありますので、もしあるのであればもう、
1:06:15	ある程度期間を見据えて、
1:06:17	進むんであれば設計変更なしで、マイナーチェンジがあったかもしれませんがけどな話ですのが一番合理的じゃないかなというふうには考えています。
1:06:30	本当にいえるを、
1:06:33	もしこの設計通りいくんだとするとその、
1:06:36	何つうか系統。
1:06:39	はい対応期間みたいな、このリプレイする必要ないんです。ないっていうことなんでしたっけ。はい。一応設計上、目標として500本という形にしていますがそこは裕度を持った上での500本としてるんで残り今の530。
1:06:58	本今日なので、そのぐらいであれば今の3号炉で問題ないかなというのは判断しております。
1:07:12	号炉ってなんぼやったんでしたっけ、2号炉は200ここに書いてます224本ですね。
1:07:20	はい。
1:07:28	わかんない。わかんないです。微妙、微妙なところですね、いろんなところでははい。はい。
1:07:49	悪い話で3号から4号に切り替えるって判断が、やっぱ
1:07:55	Dは、実際に切り換えられるまでっていうのはその、
1:08:00	何年、今回も
1:08:05	結構、何年か近くありますよね。はい。
1:08:07	今日前から準備しないという予算獲得とかもあるんですから、何年くらい前から想定しない。要は、今4号炉にしますと言って、次の年からリプレイできないんですよね。何か、何年。
1:08:21	今の3号炉は何年前から準備しちゃうんですか。いえ。
1:08:28	とは、えっとですね。そういう意味では、3号炉は、
1:08:35	平成30、3年、政策に3年かかっても、
1:08:41	泥酔付けに1年間今回1年かけてます。
1:08:45	ここであとは予算確保っていうのがありますので、多分その1年前ぐらいから予算括弧するとなると、トータル、据えつけ完了までを考えると5年ぐらいの、やっぱり、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:57	スパンは必要になるんじゃないかなっていう気は覚えています。
1:09:01	前の二、三号炉は少し設計変更とかあったので、ちょっと設計期間とか、
1:09:05	やっぱりそのちょいの期間は取ったんですけど、いっそそういうのがなければ、最低後5年ぐらいかなというふうには考えてます。
1:09:30	そう。
1:09:31	そうすればですね、動かしながらデータ見てるので、
1:09:38	判断難しいですねっていうその5年間で大体五、六年ぐらいかかっちゃう。ですから、
1:09:46	何か判断難しいですね
1:09:48	難しいです。要はその、はい。
1:09:53	再来年ぐらいから5人上に20分ぐらいで、順調、順調等にもかかわらず、更新した方がいいので、
1:10:01	っていう判断も難しいし、とは言っても更新しといた方がいいよね。
1:10:06	議論もあったりして、
1:10:09	本当に更新した方がいいんじゃないのっていうので、抜き出し性とか悪くなって、
1:10:15	そうなると、やっぱ5年ぐらい止まっちゃうので、どうしてもその後運転ができない期間ができてしまうってことですか。
1:10:23	はい。
1:10:25	ただ今言われた通り運転してみて、ちゃんと何だか製造本数が少なくなるとか、韓国が短くなってくるっていうタイミングが多分あると思うので、そこで多分製造班、政策判断をした後は、
1:10:40	多分だまし流す人でもう、3号炉運転し続けるんじゃないかな。今回も25本を運転して、まとめて、もうやりせずに、3号に更新しましたけど、もう1回そのはつってちょっと本数少なくなる。
1:10:54	かもしれませんが、運転継続しながら要するに、停止機能なるだけ少なくするっていう、
1:11:00	そういうような運転はできなくはないと思ってますので、そこは運転は送出並行して進めながら、その間に、4号炉を製作してっていう形で全く停止期間がドンと。
1:11:12	いうことはないのかなという形には考えてます。
1:11:17	ちょっとその判断はなかなか難しいところだと思ってます。
1:11:24	関係者と平成27年9本、28年4本48個。
1:11:30	これは何かあれでしたっけ、不具合があったんですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:33	はい。この基本時は吊具です、固化体の吊具側の不調で、それ以上作つてくれなくなったので、吊具を交換して、次の運転再開してっていうそういう状況で46、4本46本まで運転してこれ管理表に到達したので、
1:11:52	取り後に移行したという状況です。
1:12:00	難しいですね
1:12:03	平成27年度、28年度月達成の経過じゃない。はい。抜き出し性の低下。
1:12:10	が明らかになってからっていうことだとやっぱり、
1:12:14	難しいですね。
1:12:16	難しいけどだましまし使ってくっていうのが、現実的にはそうだと思います。
1:12:29	新規保管施設の件は、結局これはどうだったんですか。
1:12:33	今の申請してる容量増強の補正はいつは、この下の方の最短ケースでいくところの、保管料分増強420から630本っていうところがあります。
1:12:49	ここの、令和8年度から令和9年度にかけて、配置計画の補正という形で書かさせていただいてますので、
1:12:59	次回の3号炉の運転して、ある程度順調に進んだ段階で、
1:13:06	補正の方の手続きをさせていただきたいと。で、420本通った時期は、今令和9年度、
1:13:13	の次の次の運転開始後に420本到達する予定になってますのでそれまでに認可をいただきたいということで、
1:13:23	令和8年度の運転を状況を見た上で、補正の手続きをさせていただきたいというふうに考えてます。
1:13:31	もうロジックっていうのはその、
1:13:34	まず令和8年度に再開して、続々思ってるのかどうか。
1:13:40	はい。いけるよねってなるともう定期的に60分増えてくるっていうのがわかったもんだから。
1:13:46	従って、申請しないといけないよねという、なんだけど、デッドラインはあれですね。
1:13:53	なんだっけあんまり時間もなくて、令和9年度中には上限に達するもんだからはい。
1:14:02	遠藤。
1:14:03	なんていうかね、順調に計画的やらないといけませんよね。令和8年度に開始して、順調に60本いきますと、令和9年度いきそうだということなんですぐ申請して認可取って、9年度に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:21	すぐその認可のもとにやられてると。はい。
1:14:28	今は 60 本、
1:14:31	終わってからじゃなくて、大体 3 半分ぐらい多分進んだ段階で、実際とか調整を踏まえつつ、その補正の方の手続きところをもう少し着手したいというには考えています。
1:14:48	425 に加え、令和 9 年度 630 本。
1:14:56	文が取れると、何年度まで。
1:14:59	そういうことね。令和 13 年度わけですか。はい、そうです。
1:15:04	令和 33 年度で満杯になっちゃうんで新規保管施設、
1:15:10	を作らないと、その申請が令和、
1:15:15	79 年度の途中ぐらい。
1:15:19	から、420 本の認可終わった後ですね、ぐらいから、
1:15:24	調整させていただきたいなという形になって、ここら辺そのあと、建設工事とか、
1:15:30	これは今設計やってる段階ですので、そこら辺少しもう少し具体化したら、ここら辺の 2、スケジュール感ってのはもう少し具体化するかなというのには考えてます。
1:15:47	移動っていうのは、これはですから、新規の保管施設は場所が違うってことですかそうですね。はい。
1:15:59	これからお答え作って輸送してちょっと敷地のところに移設するか知りませんが、私持ってきてことですね。そうですね。
1:16:10	なるほど。
1:16:36	今更ですけどそのあと 526 本作ったらおしまい。
1:16:42	何ですか。
1:16:47	あと何本作らないと思います。あと 526 本で、今の後者先貯蔵なる。
1:16:54	まずは、処理完了するんですけど、その、
1:16:57	工程洗浄とか系統除染っていう、廃液っていうのは、当然出てきてその処理が、どこまでその、
1:17:05	ガラス固化体にするかっていうところはあるので、ガラス固化処理してまだこの後もう若干多分継続する必要があるんじゃないかなと思ってますが、今もともと計画した
1:17:16	ノウハウに称してるんですね廃棄を処理するのはこの本数で、完了っていう形で今考えてます。
1:17:38	本当には 10 年っていう規範が、例えば、
1:17:46	中の、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:47	内訳っていうのは、一つはその 80 体を 60 伸ばしたので、
1:17:53	何年ぐらい。
1:17:54	はい。
1:17:56	はい。
1:17:57	はい。あとは当然、
1:18:01	はい。
1:18:03	あとは、もともと現時点で受けてますっていうのが、はい。
1:18:07	そういう意味。そうですねはい。
1:18:09	はい。
1:18:10	本当に
1:18:12	今の運転再開時期だけをスライドを出した計画だと、多分さ、3 年、3 年 ぐらい後ろにずれるようなイメージになります。
1:18:22	もともとの計画、それに、運転本数を 80 から 60 にしたっていうのと、計 画停止期間をやっぱり設けてる。
1:18:33	それで、単純に、要するにプラス 3 年とか 3.5 年なってるのがその最短 ケースの方ですね。
1:18:41	だからその、その分が増えていってっていう形になります。
1:18:46	当然、加えると、はい、そうですねはい。
1:19:05	五十嵐国体 925。はい。
1:19:12	本編船長を、
1:19:15	追加分は、中には入ってないです。はい。はい。そうですねそうです。そう いうことです。
1:20:12	ですけど、
1:20:14	我々としてはこれはは、はいわかりましたとあと多分計画的に進めてく ださいねっていうので何かそんなに議論しないと思うんですけど。
1:20:21	工程自体を議論しないと思うんだけど、そう。
1:20:31	何つうのかなそう。
1:20:34	これを適宜見直してくんじゃない、見直したもんなんですよねってい う。
1:20:42	やっぱ数字とかいろいろ独り歩きするもんだから多分、いろいろ、
1:20:49	足かせになったりもすると思うんだけど。
1:20:52	1 案としてはこういうことなんだけど、今後
1:20:58	いや、60 本 60 本 60 本でいいかどうかもわからない。
1:21:02	結局、決算としてはこういうことなんだなってわかるんだけど、
1:21:06	何ていうんでしょうかね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:09	これに縛られることなく、その目的に見直したりするとか、何かそういう。
1:21:15	ものなんですっていう方がいいのかなっていう気は。
1:21:19	するんですけど何ていうかな。
1:21:23	見直しとかも図っていくんですがこの、
1:21:26	どうやってこれを管理していくのか、6時。
1:21:29	こういうのが出ちゃって60本で、実績、何とか計画期間がもんだみみたいな形で、これをベースに今後何か管理してく。
1:21:41	ものなのかなっていう、この計画、使い方っていうんですかね、何かそういうのは、話し合われたんですか。
1:21:49	はい。
1:21:51	算主務そうですね一応、
1:21:54	今回はまだそのさっき言ったように、ある程度前提条件でやってますので、まずはまずその3号炉を運転して、運転製造本数等、状況の期間、
1:22:05	そのサイクルをまず確認した段階で、まず1回この計画についてはそうですね、見直しを図りたいと。
1:22:11	あとはその計画停止の期間とかあとそれ以外の遅延リスクですね、そういうのがあればもうその都度やっぱり必要に応じて、見直しを図っていききたいというふうには考えております。
1:22:23	基本的に今、今考えてるのは、決定機関以外は外のところに、特にその理由を設けてるわけではないので、そこら辺は少しやっぱり変動要因ってのはあると思ってますので、
1:22:35	そこは毎回毎回見直すのはやっぱりちょっとあれなんですけどある対定期的にはその進捗状況と、その状況を踏まえて、計画の方は見なおしていきたいというのは考えています。
1:22:59	はい。木場技師長赤瀬衛藤資料については先週、面談でご提示してから特に内容は変わってないんですが、一つですか。
1:23:10	堀井さん十分で、何と何とやるかをちょっと調査しますか。はい。特に変更箇所はないので、ご説明して全体の流れぐらいから経営資料3についてもこれも先週一通りご説明をしてるんですが
1:23:29	ご指摘の1改訂してる部分ありますので、そこも含めて、資料3、
1:23:34	ということなので、内容的にはちょっと残り30分で、じゃあよろしく願いいたしますと思います。ちょっと資料2の方はざっと。
1:23:45	ちょっと紹介させていただきますとこちらは、下出庫ナカノです。こちらは工程洗浄が終了した段階で実施する廃止措置計画変更認可申請の計画についてということで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:56	概要にもございますように、今年度末で工程洗浄が終了いたしますので、そうすると工程洗浄側の、
1:24:06	工程洗浄の対象になってました上メンプラントDNPCPF。
1:24:11	1と1意味は役割を終えるということそれから、
1:24:16	もうそういった意味で系統除染解体に向けた作業が開始されているということそれから、クリプトンについてもすでに
1:24:23	令和4年に細江てますのでそういったところも、系統除染解体に進んでいくということで、それらを踏まえた申請をさせていただくということそれから、
1:24:34	それを踏まえて二つ目のマルの方に四つの項目。
1:24:38	示させていただいていますがこれを今年度末に目途に申請させていただきたい。
1:24:45	です。一つ目としては、回収可能核燃料物質へと固定で終わりましたのでそれが取り出されていることを明らかにする資料を出させていただくということと、
1:24:55	あとは、状況が変わりますのでそれを止めて(2)規制の維持施設を整理させていただくということ。
1:25:01	それから(3)番これもすでに廃止措置計画の中で予告はしてるんですけどぜひ終わった段階で本質の目標値もまず少し下げさせていただくところそれから、
1:25:13	あとはこれが番目は女性の取り組みに入ってきますのでその計画を休憩申請させていただくという、その二本立てで修正を考えてということ
1:25:25	まずこの資料2ではそれぞれ概要のみについて紹介させていただくということで、
1:25:30	具体的な地域については資料3で、少し踏み込んだ説明させていただきます。その他についてはまた次以降の会合受診時ということで考えてます。
1:25:42	30ページ、これが、
1:25:46	回収可能核燃料物質が取り出されているところを明らかにすることで、工程洗浄で目指していた判断基準、裏を取るのそれぞれの濃度でございますがそれを、
1:25:57	下回りましたということを資料で提示させていただきたいということで、中段付近の四角に囲まれている部分、これは次認可いただいている申請書の抜粋でございますが、
1:26:08	ここでもうすでに終わったな工程洗浄終了後にそういったものを

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:13	明らかにするということで、ご報告させていただいてる状態ですのでそれをタイミングで出させていただくということ。
1:26:20	考えております。この項目、これに基づいて添付書類として、
1:26:28	すでに回収可能とする火砕物を最終施設課長が取り交わしていることを明らかにする資料というのを指定されている項目というのと、本来これーそのものは
1:26:38	廃止に入る段階で、取り出されていればそれは僕ら諦める資料を出すそれがなければその方法とか時期取り出す方法とか時期を、申請して認可をいただくということでそれが終わった段階で改めて出すかどうかというとい必ずしも法令上読み取れる部分は、
1:26:54	がないんですが下の方にちょっと少し細かく成功例と書いてありますが、本所等ではその二段階で安いついていうのとあと、我々が認可いただいている申請書の中でも、その段階でやるということを明示してますのでそれに従ってやらせていただくという考え。
1:27:12	基本的なことでは恐縮なんですけど。
1:27:16	工程洗浄終了の判断基準の1グラムパーリットルと増える10ミリグラムパーリットル、これはもう、もう認可とってんですよ。
1:27:25	食べますって言って、その後、
1:27:29	エビデンスそ、実際にこれ未満でしたよっていうのを今回添付するっていう形になったっていうことをただ
1:27:40	出させて、
1:27:42	だからもうなんて言うんでしょうか。
1:27:44	その判断基準はもうすでに認可取ってるんで、もうそれより作業して、実際に量として下回ってました。
1:27:54	ていうのだけは伝えてなかったんでそれを単に添付していった。
1:27:59	弁理士で改正可能かが取り出されてないっていうことだけですね。はい。それはちょっと発電炉と違ってちょっとわかりにくい部分になってくるかと思うんですが三枝もう燃料が取り出されて0か1でなくなったっていうことを示すってことになると思うんですが、どうしても最初の場合は工程洗浄終わっても、
1:28:18	例えば昼ですが、ある程度のことは起こるという状態にあるんですけど、そもそも核燃回収可能核燃料の定義自体がその通常の方法で、
1:28:26	取り出せるものっていう感じですので、その通常の運転の終了条件として設定されてるもとにその、
1:28:32	判断基準を設定させていただき、認可いただいておりますので、それを、そこになったということをお示した上で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:41	この状態になったということで、
1:28:44	何なのかなって要するにその、
1:28:47	判断基準はもう議論する必要だってもうそれ決まっていると。この数字下回ってることも出し、出してもらっただけ
1:28:56	数字を下回ってることと確認の仕方。
1:29:00	これは今まで認可特権でしたっけっていうな、判断基準はもう認可取ってて、換算基準を下回ってるっていう紙を見てその、
1:29:12	数字の出し方が適切なのかっていうのを見ないといけないのか。
1:29:18	判断の出し方みたいなのも認可取っててそれに従ってやってる、それに従ってやってますねっていうのだけを見ればいいのかっていう。
1:29:28	そこを明らかにしないと何か
1:29:31	もめるだと思ったもんですから、
1:29:34	ありがとうございます。そこがちょっと難しいところではあるんですが発電炉の例ですと、いわゆるその燃料の配置等を品質記録残してますので、それを、それがもう取り出されたっていうことの品質記録を添付する形で、その状態になったということ、
1:29:49	認めていただいているっていう状況です。ですので、それに応じた形として、今その後ろの方に少しみたいで終了していますが一番中心になるところは、
1:30:02	37 ページから 7-2。
1:30:06	案として、これはですね。
1:30:12	既存の品質記録ですと我々各貯層の分析記録がかなり細かなデータが大量に作ったような形の例で、認可をいただくのはなかなかちょっと難しいところもあるのかと思ひましてこういった形でまとめさせていただいて、
1:30:25	表の構成としては、工程洗浄終了等の推定値ということでここまで、目標とするところまで持ってくるのはすでに認可いただいている内容で、いや、
1:30:36	ありますのでそれに対して、その実績としてここまで下がったところを、これをちょっと-6 クリサキで位置付けた上で、それを添付する形で確認いただいて、認可をいただくというような、
1:30:49	手続き上そういうことを考えてます。いいのか、いつがあるかないかっていうことだと、こういう、このシートで数字出してもらって、
1:31:00	大嶋稲井をするんですけど、どんどん、
1:31:04	どうも、
1:31:05	番場小。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:07	なりに、
1:31:08	どれくらいの血が、
1:31:10	リフォームの方がありましたっていう数字出してもらって、
1:31:16	基本おしまいなんだ。
1:31:20	できるか。はい。それではそういう流れをもって、
1:31:24	あとは参考情報としてどこまでおつけするかということでは、例えば 39 ページ。
1:31:31	イメージ的なものをつけさせていただくと、あと、今回基本的にこの行き先が、高放射性ー。
1:31:39	麻生の方に送ってますので、ちょっとその参考情報として、これは先ほど議論があったようなガラス、いずれガラス固化になってくということ でそちらの本数にも関連してくるという部分もありますのでここはちょっと データとしては、
1:31:53	参考としておつけするようなことも考えてる状況でございます。
1:31:59	情報をちょっとこれくらい、お互い確認しておくっていう。
1:32:30	一般的なこと聞いてもいいですか。途中参加回収科目燃料不足の。
1:32:37	通信を経緯があるじゃないですか。
1:32:40	日蘭 1 グラムパーリットルでくる順次だパーティクルや、この数字でどっ からきてるんですか。
1:32:49	通常運転してた時の運転の終了条件といいますか、そういったところから の運転の終了条件なんですが、
1:32:58	なかなかそれで合ってますか。もし補足あればお願いします。
1:33:03	会計上機構の仲間です。制度上の基本的その考え方です。通常の硝酸 を使った扇状で、達成する判断基準となっております。以上です。なる ほど。今運転してた時代にキャンペーンを終わって、最後そのクラッシュ といいますが成長しておりますがその終わりの。
1:33:20	条件としてもともと設定されてたというのは、
1:33:23	それは結局その長さんで、紙洗浄して、この数字上はもう取れないよね っていうことを、
1:33:35	以前なんか、
1:33:37	議論したんでしょうか。依存だというか、
1:33:41	この
1:33:43	その 10 ミリグラムパーリットルその運転段階ではその運転終わって、硝酸 で洗浄して、硝酸で洗浄すると、どれくらいまで実力そしてその除染 できるんですかっていう。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:58	それはなかなかきりがない世界に入ってきましたてやればやるほど少なくて、ただ、それに応じて廃液がひたすら増えていくって状況ですので、
1:34:09	ただそれが通常の方法かっていうとそれはその系統除染の段階でどこまでやるのかっていうのは、考えていく世界に入ってくるのかなと。この方は、あくまでその、
1:34:19	普通、通常の運転終了時の、
1:34:26	定められた手順に従ってここまでやるというのを定めたものをそのまま引用してるというそういう状況になります。どこまでできるかっていう意味では、やればやろうっていうところがありますんで、ロジックとしてはもうあれですよその、
1:34:40	運転段階。
1:34:42	その開始、回収可能確認を取れて養鶏なので、運転段階で使ってたものと、レベル感としては同じにしますと。
1:34:54	ということですよね運転段階の時に、もうその回収可能核燃が取り出されてるかって判定基準も持ってるもんだから、それと同じにしたってロジックですよやはり措置段階だから数字を上げたり下げたりとかもせず
1:35:10	に、 回収管理の確認が取り出されているのかどうかっていう点なんかでもうすでに、
1:35:15	決まっていると。従ってその廃止措置段階に持ってきて、同じレベル頑張ってる。
1:35:22	ていうのを決めていて、あとはそれに従ってたんやるっていうこと
1:35:32	でいいんですよ。残ってるかもしれないけど残ってたってそれは別に、 廃棄物にするってだけ。
1:35:35	なんですよ多分。
1:35:37	花木井関です。
1:35:41	勉強のためです。はい。はい。
1:35:51	もうあれよろしければ、2A棟通しで 40。
1:35:56	以降がですね、こちらは性能維持施設の整備ということで、
1:36:02	ここも概略だけこのページの下の方いただいておりますが、もともと最初の認可の時には、まだ工程洗浄のやり方も決まってない段階で性能維持施設定めてますので、
1:36:14	運転のときからあまり変わらないものをいわゆる、施設定期自主検査の対象になっていたものをそのままスライドして性能維持施設にしてきたという経緯がございましたので今般、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:25	工程洗浄終わって橋田可児委員、除染段階入っていくということで、その段階で、今後その必要な数、機能というのを整理した上で改めて申請させていただくということで、
1:36:39	は、一つまとめておりますこれからの本格化する助成それから設備解体において維持すべきもの。それから、今後も一定期間、廃棄物の処理は継続していく部分もありますので、
1:36:52	それに必要なものが必要な機能を整理した上で、今回の申請においてはその基本的な考え方ですとか維持する機能の理由それから、
1:37:02	今後進展に応じて解除してきますのでその辺の条件との考え方を充実させた上で申請させていただきたいというふうに考えております。
1:37:13	ちょっと具体的な考え方はまた後程ご審議お願いいたします。それから、41 ページは放出管理目標値の見直しということで、これもそもそも改修の進捗に応じて見直すこととして計画上を定めて、
1:37:27	おります。特に工程洗浄が終了した段階で、今、
1:37:33	もう、
1:37:36	限定された取り組みになってきますので、いわゆる、当社の工程洗浄ではいわゆる抽出とかいう声も含めて視野に入っていた部分はありますが、逆にそこまでやりませんでした。そういった可能性がもうなくなってくるというところありますので、
1:37:49	そういったところも踏まえて見直しをしたことです。それから、今回このタイミングで見直しますが、今後も
1:37:59	特定背景の処理が終了したいですとかあと新規の廃棄物処理関係の施設を立ち上げるタイミングというのがありますのでそういったタイミングにおいて、適宜見直しは経常的な段階的に行うということで考えてございます。
1:38:14	それから、40 ページところの上からの系統除染の計画ということで、ここでは概要、基本的な考え方のみをちょっと整理させていただいてるところでございますが、
1:38:27	本当そう、最初の 2 段落目のところに記載ございますように、
1:38:33	現状の状況を特にその汚染状況が十分に把握してききれてない部分というところがありますのでちょっと特徴を少しまとめさせていただいております。で、
1:38:48	そういった汚染状況を把握するためにはやはり相当の時間かけて施設全体の汚染状況調査には、期間をかけたいというふうに考えてますそれから、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:57	さらにその除染では生じる廃液の量とか、その処理についても、詳細に定めていく必要がありますが、やはり
1:39:11	汚染状況等をしっかり把握した上で、これは廃液処理のプロセス適合性であったりとか影響を慎重に里見様に定める必要があるということ。それから、
1:39:22	あとは除染後の解体というのは、将来的には人的できるところまで除染できるのかまた遠隔解体するとかそういったところでどこまでやるかってのは決めてく必要が、
1:39:34	ありますがそういったところも、状況としては、今後精査していく必要があるところを加味しまして今回の申請としましては、
1:39:44	基本的にはそういったところを慎重に見定めながら段階的にやっていくというような基本的な考え方をまず出させていただくということと、あとはその第1、
1:39:54	段階の申請としましては基本的には、
1:40:00	最初の段階の計画としましては施設の改造とか改変を伴わない範囲それから、用いる所制約としても、すでに取り扱っている現状の設営処理可能な希硝酸を中心に除染剤として用いることで、
1:40:18	かつ失礼しました。
1:40:21	今の現状の貯蔵容量をLWTFの今後の立ち上げのタイミング等もありますので、そこに影響がない範囲で
1:40:33	助成をやっていくというようなそういった考え方を申請させていただきたいということで考えております。
1:40:40	今の委員会についてはまた出てきます。以上のように四つの項目を申請させていただきたいということで、経過していますが、大学の説明をさせていただきます。
1:41:00	どうぞ。主幹の目標。
1:41:04	だけど、統計の状況に合わせてあげる、実態に合わせてますということなんですけど、今後、何かこう、例えば家庭の解体とかで、線量がまた上がっちゃうみたいな可能性もあるんですか。
1:41:18	可能性としてはあるんですが、なかなかそこは理解が言いにくい部分があると思うのでなるべくそれがいいような設定の資格というのを、
1:41:28	今回もしていきたいというふうには考えてゴールドこう下げていくっていう。
1:41:35	かかっていないところをねらってくるのが筋かなと思ってます。ただ、そこはまた新しい施設の設計の段階でいろんな制約とか条件出てきますので、その中で多分、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:48	その段階でのもともとの設定値の範囲内で設計するってところをまずは目指すってことなのかなあとは思ってます。
1:41:56	機械は多分、簡単に放出できなくなるだけでちょっとホースできるだけ進めればいいかな。
1:42:06	値、
1:42:09	あんまり今の話はない。期待があるかしんないですかなんちゅうかな、
1:42:14	北井儘田。
1:42:15	そんな、何ですかね、解体の状況によって、
1:42:19	思ってたよりも、
1:42:21	いましたなんていうのはある、あるんですかね。ぜひ、
1:42:25	何かもう考えづらいだろうっていう。
1:42:27	系統除染しちゃってもうインベントリ下げられてるわけですね。うん。この数字そのもの、例の、
1:42:34	改正核明確確認の数字に対して、
1:42:38	解体に入ります。
1:42:40	で、
1:42:41	気体廃棄物の管理部表示が思ってたよりも上がっちゃいますなんてこと何かあるんですけど。
1:42:47	例えば、固体の廃棄物等で今例えば容器の中に入れてしてあるものをそういったものを廃棄体化するために一旦分けて、圧縮してとかそういった工程も、将来的には入ってきますので。
1:43:02	そういった過程の中で、今言う閉じ込められたたものが一部オフィスの対象になってくる。そうする可能性はあると思ってます。
1:43:11	その時も、
1:43:13	その場所は何かしらそっち講じるんですよねその。
1:43:17	何ていうんですか。
1:43:19	開けてもちろん決定。
1:43:23	ですねそのまますべてそのままをすることではなくて、やはりその閉じ込めの機能を持たせて、除染係数を持たせてという設計をしてきますので、
1:43:32	もともと取り組みにみあった数字に下げて、管理していくというところをやりますがそれでもやはり余裕は不確実な部分があって上を持たせてるというところで、やってくということになってきますんでさらに、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:48	汚染状況調査とかが進んでいくとその余裕を持たせたところの、ある程度、定まったタイプも徐々に見えてくると思いますので、そこで余裕が生まれてくるということもありますので、
1:43:59	新規施設の場合には、
1:44:02	基本的にはそこへ納めるような努力はしていきたいと思っておりますが、
1:44:08	書いてるところも、もうモード、作業のモードが変わるたびに、見直しことですか。
1:44:17	だからやはり、合理性との兼ね合いってということになる余りにも不合理な場合には場合によっては、若干上げるような、上げるとは言っても、当然
1:44:27	基準値等は大幅に下回ってる条件のもとでということになると思います。そういった相談が佐瀬をさせていただく可能性は、なくはないのかなと思っております。
1:44:41	これファイルと、
1:44:43	認可とったら、保安規定も変えてくってという法案。
1:44:47	関連する保安規定も合わせて、
1:44:50	変えていくことを考えてます。
1:44:53	順番的には多分、夏先は廃止措置計画終わってからは、保安規定で、いわゆる廃止措置計画を反映する保安規定変更を出すっていう。
1:45:03	それとも同時申請なのかっていう。
1:45:06	保安規定がとかどちらかになってくるのかなと思っておりますが、
1:45:14	年度末で不安。ちょっとそこ自身は、なるほど地震性、
1:45:25	25 ヤマナカ 10%ぐらい施設計画の補填が入れば、どうしても必要になってしまうので、その表 1 を、
1:45:37	今のところどうでしょうか。うん。なるほど。わかりました。はい。
1:45:49	江藤木戸さん、清野家施設の整備について 43 ページ工事でございます。
1:45:57	説明させていただきます。45 ページのところは施設の状況ということでこちらのイベント等があると、リスク、あとはそれにしか書いて安全性の検討を上げてきますという内容で、こちらの、
1:46:14	ございます。
1:46:16	47 分ですね、46 ページのところ、
1:46:20	製造施設については、仲本にあります青字で書いております廃止措置の安全確保という観点、あとは高放射性廃液に係る事故等への対処というものに必要な機能というのを、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:34	を有する設備を性能維持施設を先方として設置しますという方針を示してございます。
1:46:41	47 ページにつきましては清の施設の範囲ということで関連する設備についても、その範囲を明確にして性能維持施設に含めることにしますというような方針を記載してございます。
1:46:54	48 ページにつきましては前回のコメントを反映して修正してございます。前回使用しない設備についても水機能を維持するみたいな記載になっていた、その原因としては
1:47:09	どこが
1:47:13	どこの設備を中心に考えるのかというところを今回明確にしたというところで1行目のところで、放射性物質を保有する設備について、処理貯蔵を継続する設備と、今後処理貯蔵に懸案に用いない設備。
1:47:29	いう形に分類して、過去、関連するものについては関連設備というような形で整理したということでございます。処理槽を継続する設備につきましては、
1:47:42	その設備自体、性能維持施設をするというところと、井川で書いておりますが、
1:47:53	設備が取り扱う物質や処理プロセスの特徴に応じて必要となります、遮へいとか、核的制限値面積制限値の維持等々の、
1:48:03	あとはそれらの事故対象機能を担う関連設備についても性能維持施設としますというような話で、今後使用しない設備、例えばもう使用ちょうど行ってない貯槽等につきましては、
1:48:18	今後、解体除染解体を進めていく設備ということで、その設備本体については性能維持施設とはしません。
1:48:27	ただし、それらが汚染等が残留しているというようなことがございますのでその関連設備であるセルや、建屋等については性能維持施設にしないとしますと、
1:48:43	というようなところ。
1:48:44	あとは
1:48:48	それらの設備について衛藤被ばく従事者や保守への被ばくの抑制低減の観点から、
1:48:58	安全機能を必要としないというところについては、性能維持施設はせず、今後の廃止措置の段階で、徐々に除外していくということでございます。
1:49:10	ちょっと今の先にいってしまいますが、今の形で51ページの方に、使用継続、貯蔵処理を継続する施設。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:21	というような情報を審査いたしました。
1:49:26	中ほどのちょっと理解が所、処理共同継続する設備ということで、これ自体、放射性物質の保持機能といったような形で性能を維持するとすると、そこに繋がっている人がそれをてるたて合わせるといったようなものについては、
1:49:44	それぞれの安全機能の方を維持していくというような形の方。
1:49:51	52 ページの方も同様な形で、こっち方向が%
1:49:58	十河にもしれない。私関連設備である、セルリー関係関係等々については、
1:50:08	というようなことを聞いております。今の考え方をちょっと、
1:50:16	プロットしたのが 49 ページの形で、
1:50:22	先ほど申したように除草等を、設備それらの以外、それら以外の管理設備、ユーティリティ設備等々、関連設備というふうに
1:50:33	整備しまして、フローの方を見直しております。
1:50:38	こちらの方
1:50:42	初動に用いない設備で貯槽等については除染、解体等に移行していく、それらの関連設備で安全機能を持たないものについても、除染解体エコー。
1:50:55	セルの閉じ込め等に関する安全機能については維持していく。
1:51:00	処理貯蔵を継続するものということでは、除草等については
1:51:06	考え、
1:51:08	安全機能を有するものについては、性能維持施設として、安全機能を持たないもの、については質問に関連を行ってございます。
1:51:26	50 ページの方では、こちらも全般を表した図でございますが予想通り、こういう放射性物質を保有している設備自体を、
1:51:38	議会とその関連設備というようなことで合わせたことから、図の方、点線で部分も若干変更しております。
1:51:57	53 ページ以降に、それぞれの設備の状況等を、安全機能に必要な考え方集の最小危険形に整理した表、これまでも示しましたが、
1:52:13	53 ページの上から二つ目のところで、
1:52:17	今までも放射性物質の放出経路というような形で関係についてはお示ししていましたが、ろ過等の機能についてちょっと明確じゃなかったということで自主的、こちらの自主的な見直しとして、
1:52:32	そういったとか機能も含んでいるというようなところで評価を見直しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:52:39	江藤玉田対象の方今フィルターを通過しているというようなところ、それが槽類換気系セル換気系建屋換気系という形で見直しを行っています。
1:52:51	庭と主要な。
1:52:54	点は以上でございます。
1:53:27	民間とせっかくメンコン。
1:53:30	分け方自体は別断層そうなんだなって。
1:53:34	あとは多分これ実際に申請出された時に、
1:53:38	うちは確認しないとイケないの。ちゃんと顧問。
1:53:40	この、
1:53:42	整理の通りにちゃんと
1:53:47	設備が、
1:53:49	されてるのかみたいになっちゃく。
1:53:51	うちらもちゃんと説明できないといけないし、
1:53:55	ぜひ、飯野は多分ちゃんと確認。
1:54:00	決して、
1:54:01	いくものなのかなと思いますけど。
1:54:04	そこはちゃんとうちらが説明できないといけないのかというのも、
1:54:08	40 天田、今野 40。
1:54:13	一番右の
1:54:16	当時からわかるんですけど、安全機能を許さない設備。
1:54:22	登録する必要はないんですけど、
1:54:25	もう日本語として放射性廃棄物の処理必要な企業を、
1:54:31	何か関連する設備であるってそ、それって何radっていうのを、
1:54:37	うちらも説明できないといけないから、要するにこの議論って、
1:54:41	ちゃんと安全機能に関連するものとか、事故対処とかに必要なそれは引き続き性能維持施設として登録して参りますっていうそのロジックに異論を唱える人は多分いなくて、ただその、
1:54:55	安全機能とカーに関連するものじゃないのでこれは登録せずして、保安規定に基づいて対応して参りますってこのロジックにも、異論とらえることはないと思うんだけど。
1:55:07	じゃあ具体的に何なのかっていうのは確認しておかないといけないと思ったんで今日はちょっと時間がないのでちょっと確認する時間がないんで確認しませんけど、それって何なのかなっていう。
1:55:20	もう、ちゃんと確認しない。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:55:22	場合によってはこの日本語も少し何か変えないとコンフューズするんじゃないかなっていう、放射性廃棄物の処理に必要な機能。
1:55:32	相変わらず維持する設備ですということだと、出す日本語的に性能維持施設なんじゃないのっていう印象を与えるんだとすると、何か具体的にこういうことなんですっていうと確認した上で、
1:55:47	ひょっとしたらこの日本語でいいかもしれないけど、もうちょっとその、エントリーからは外して良い。
1:55:54	ていう。
1:55:55	要は、何かわかるような書き方は何なんですか、何かそういうのはちょっと追求してもいいのかなと思います。ちょっと引き続きそこは何か。
1:56:05	はい。すみません。
1:56:07	はい。原子力機構の田内です。ちょっと表現の方をちょっとわかりやすくできるかと検討するとともに具体的に何なのということを行ったところ、回答の方を遵守したときになりますので、今のところ、
1:56:22	46 ページのさ、前にも少し議論があった。
1:56:26	規約とか原料とか供給のところに結びついてるんですが、原子力機構の田淵です。その通り
1:56:35	安全、これを肯定しない場合に運転は停止するけれども、安全、処理運転を停止するけれども安全に影響のないユーティリティと、そういったものを想定しております。
1:56:50	なんかそういうのを会合でやりとりしてもいいかもしれないですけどねこの設備って何なんでしたっけ、瀬谷白木とか何とかなんてそんなのいらないでしょっていうやりとりをしても、
1:57:02	そういうだったらカテゴリーとして、
1:57:05	入れなくていい。
1:57:06	やりとりをしてもいいかもしれない。
1:57:12	他の人からするとちょっと難解だから、そう登録するものと 6000 円はエソール債務具体なんでしたっけいろいろ、
1:57:20	再処理施設、
1:57:22	については、大高と違って、何か運転段階で必要な薬品とかなんですけど、そういう安全機能、関係ないですね、ありますと、そういうのは、
1:57:35	協力する必要がない。ただ、なぜ保安規定に基づいて、何を見ないといけないのかはちょっと確認したところではありますけど、ひょっとしたらもう何でも見る必要はないんだっけ、ないかもしれないんだけどあるとすると、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:57:49	ちゃんと管理してないとそれが他の安全機能に影響を及ぼすかもしれないから、一応何も関係にしないってことじゃなくて、確認するっていうことだと認識はしたんだけど、何かそういうやりとりをしてもいいのかなと思いますね。介護。
1:58:05	そちらの回答できるとはこういうことなので、いらないんですけどこういう考え方で、ただ保安規定には入れといた方がいいとはこういう方、考え方なんだと、そういうやり方はできるんですか。
1:58:17	ちょっと時間もないんで、ちょっと整理したいと思います。具体が何かっていうの早々例は何の役割を持ってて、それが何か。
1:58:28	機能を失った時の影響がある程度総務課に絡んでないかっていうと、あと保安規定との絡みとはいえ、
1:58:35	一般活動として修理して維持してっていう活動がやりますのでそれをどう位置づけるかってところも含めてちょっと考え方を整理して、議論、回答できるようにしておきたいと思います。
1:58:50	原則となりますが、簡単にスケジュールだけ、最後のページになりますが60ページへと。
1:58:58	明後日、7日に喝采関係、河西須田さん、高崎さん含めた面談をお願いしたいと思ってます。あと来週に、
1:59:09	設定させていただいてますちょっと必要に応じて会合前にさせていただいております。戸松狩野の流れで、
1:59:23	もう少し順調です。
1:59:28	台風だったんですけど別にこの14.2。
1:59:36	定例的には何かご興味がない。やってた感じだ。
1:59:40	どっかでも何か、12日の日とか14日の、
1:59:47	間と不都合が何かあるんですけど。もし何か考えれば、お願いします。
1:59:53	資料提出時期。
1:59:56	こちら東海です資料の最終回の資料のペースが13日で伺っておりましてその前に1回、ご相談の方がよろしいかなと思って18日ではなく12日に前倒して設定したんですけども。
2:00:10	まず1点、いかがでしょうか。
2:00:12	20日の1週間前に最終版が資料提出というところを見込んでその前に、最終的な確認という意味合いで、
2:00:35	終わりますか。はい。はい。よろしいでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:00:40	すいません、今回から1件だけお願いいたします。予定通り今まで5面談でお話した通り12月4日をもちまして、工程洗浄の裏の取り出しを開始しました。
2:00:53	昨日から多少等の加熱開始、D種と言われるウラン粉ですね、等対策を供給する作業を開始しております。
2:01:02	公開の方は明日、本日ですね、江藤ホームページの方でアップしまして、工程洗浄開始の旨を公開いたします。
2:01:11	報告は以上となります。
2:01:20	はい、どうもありがとうございました。ありがとうございました。
2:01:26	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。